

さまざまな世界観が、舞台を飾る

◎第11回きほく芸能まつり

艶やかな踊りを披露する出演者



10月31日、広見体育センターで「第11回きほく芸能まつり」が行われました。
まず、芝田正文副町長が「日々生きがいを持って、地域社会づくりにますます貢献してほしい」と出演者を激励。その後、町内13団体の芸能団体が謡曲、民舞や合唱などを披露しました。
それぞれに趣向を凝らした衣装や演出で、艶やかに舞い、厳かに音色を奏で、伸びやかな歌声を響かせ、華やかに舞台を彩る出演者たち。生き生きとした表情を浮かべ、舞台上に立つその堂々とした姿に、観客からは盛大な拍手が送られました。

自尊感情を高めてほしい

◎子どもたちのための人権集会

穏やかな口調で語りかける北村氏



10月26日、広見中学校体育館で「鬼北町人権を考える集い」子どもたちのための人権集会」が行われました。
今年是非フイクシヨンプライターの北村年子氏を講師に迎え、「生きていくだけでありがとう」不完全な自分をゆるす」と題して講演を実施。「ホームレス」を題材に、その実態を子どもにどう伝えるかの重要性を語りました。
また、北村氏は「いじめで自殺する子どもがゼロになることが夢」と話し、「自己尊重感を高める、つまり、ありのままのどんな自分も大切にしてほしい」と子どもたちに訴えました。

華やかさと優雅さを漂わせ…

◎鬼北生花展・お茶会

花と写真のコラボレーション



「鬼北生花展」は11月7日と8日の2日間、広見体育センターで行われました。
会場には、参加した5流派それぞれの個性が感じられる生花をずらりと展示。花の生け方に限らず、器や敷物など細部にわたるこだわりから生まれた作品に、訪れた人たちは静かに見入りながら、その一つ一つの作品が醸し出す雰囲気を感じ取り堪能していました。
また、8日には会場内で「お茶会」が行われ、生花とお茶席が醸し出す和の雰囲気が、来場者たちを癒していました。

ただひたすらに勝利目指して…

◎鬼北町球技スポーツ少年団秋季大会

勝利に向けた渾身の一振り



「鬼北町球技スポーツ少年団秋季大会」は11月7日、宇和島市三間町の中山池運動公園で行われました。
この日は、9月に開催されたバスケットボールの試合に続いて、ソフトボールの試合が行われ、町内外から6チームが参加。グラウンドには、声を張り上げ、仲間の好プレーを称える選手たちの姿、そして、懸命にボールを追いかけ、一点、一勝を目指して奮闘する選手たちの勇姿が見られました。
主な結果は次のとおりです。
①近永球技スポーツ少年団B
②近永球技スポーツ少年団A